

# シンポジウム

## 地域メディアの

### 現在と、そこから

## 生まれる可能性

2016.1.26 火 16:30~18:30  
(開場 16:00~)

会場：静岡文化芸術大学 南176大講義室

対象：興味・関心のある方はどなたでも

入場無料

事前申込不要

現在、コミュニティ・ラジオやケーブルテレビは日々新たな試みを実施し、地域情報の発信、スポーツ中継、音楽番組などに独自の企画を次々と打ち出しています。こうした地域メディアの現在とこれからの可能性を考えるため、実際の地域メディアのご担当者様をお招きし、静岡文化芸術大学の教員・学生との共同シンポジウムを開催します。



公立大学法人  
静岡文化芸術大学

主催：静岡文化芸術大学 加藤研究室・松戸研究室



# シンポジウム 地域メディアの現在と、そこから生まれる可能性

【日程】2016年1月26日(火)【時間】16:30~18:30(開場:16:00)【会場】静岡文化芸術大学南176大講義室

事前申込不要

入場無料

現在、地域メディアは多岐にわたる新たな試みを行っています。地域メディアと聞くと、地域防災の担い手といったことを思い浮かべる人も多いと思います。しかし、地域のFMラジオやケーブルテレビは、そうした地域防災の役割だけに留まらず、地域の様々な人々の活動やイベント情報などをきめ細やかに発信し、地元のスポーツ中継を充実させ、また地域の様々な人々と共に番組制作をするなど、さまざまな活動を実践しながら地域との関係を築いています。本シンポジウムでは、まず、地域とメディアの歴史的な関係性についての研究報告の後、浜松を中心とした地域メディアのご担当者の方々に、現在の地域メディアの試みについてお話をお聞きます。さらに、こうした地域メディアに実際に関わっている静岡文化芸術大学の教員や学生から地域メディアの役割やそれに参加する楽しさを報告してもらい、地域メディアの今後の可能性を議論していきたいと考えています。

## プログラム

### 1

趣旨説明・報告

地域とメディアはどう関係してきたか-1960~70年代のNHK地方局の活動から-  
加藤裕治(静岡文化芸術大学 文化政策学部文化政策学科 准教授 文化社会学・メディア論)

なお、今回のシンポジウムにおける報告は、船戸修一 静岡文化芸術大学 文化政策学部文化政策学科准教授との共同研究の成果となります。

### 2

地域メディアは、いま、どんな試みをしているのか&何を指すのか。

「地域メディアの概要」

富田晋司(静岡文化芸術大学地域連携室調査員)

地域メディアからの報告1

浜松エフエム放送(FM Haro!)様

地域メディアからの報告2

浜松ケーブルテレビ株式会社(ケーブル・ウィンディ)様

## 休憩

### 3

地域メディアに参加する&地域メディアの可能性

「番組制作の現場から -『キャンパス・ノート文芸大春秋』を中心に-」

大河内望らい(静岡文化芸術大学 文化政策学部芸術文化学科3年)

「地域メディアの可能性 -音楽番組への出演を通して-」

梅田英春(静岡文化芸術大学 文化政策学部芸術文化学科 教授 民族音楽学、芸能人類学)



## 【アクセス】

【徒歩】 JR浜松駅から徒歩15分

【バス】 浜松バスターミナル

◆10番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車

◆12番のりば循環まちバス「ぐるぐる」東ループ「文化芸大」下車

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 【お問い合わせ】

公立大学法人静岡文化芸術大学 静岡県浜松市中区中央2-1-1

☎ 053-457-6105(地域連携室)

文化政策学部文化政策学科 加藤裕治研究室

☎ 053-457-6175

✉ y-kato@suac.ac.jp